

2023年10月30日

報道関係者各位

株式会社 DMC aizu

国内屈指の名門福島県猪苗代スキー場の運営会社 DMC aizu※では、このたび、磐梯朝日国立公園の自然を満喫するとともに、環境再生を図る上質なツーリズム「会津テラス計画」に着手します。
～国立公園の保護と利用の好循環により、優れた自然を守り地域活性化を図る～

株式会社 DMC aizu（本社：福島県猪苗代町、代表取締役社長：遠藤昭二 以下、DMC aizu）は、天鏡と呼ばれる山上の大湖「猪苗代湖」を眼下に、福島の復興・再生を胸に刻み、磐梯朝日国立公園の風光の美を眺望する「会津テラス計画」に着手します。開業は2025年秋を予定しています。

会津テラス計画は、表磐梯地域の魅力を向上させる「会津スカイテラス（仮称）」及び「会津スカイケーブル（仮称）」の2つのハード施設整備と、自然や文化などの地域資源を活用した持続的な利用を目指した取り組み（環境配慮・自然環境オフセットプログラム、地域活性化・連携コンテンツ、持続的な地域社会形成を目指した事業の3つのソフトプログラム）から成り立ちます。その際、長年の課題だった山頂付近のトイレ問題と磐梯山の一角である赤埴山（あかはにやま）のスキーコースの景観回復の解決を図ります。

(1) 会津スカイテラス（仮称）

猪苗代湖を見渡す眺望施設を猪苗代スキー場のある赤埴山山頂直下に新設します。尾根の風衝草原の植生の保全を図り、猪苗代湖が生む雲海をはじめ、類をみない圧倒的な景観を満喫できる展望スペースを屋内外に設け、食事をとりながらくつろげる施設です。グリーンシーズンのトレッキングやエコ・ジオツーリズム等の活動拠点として通年営業を予定します。地元との協働・連携による、自然から文化まで多様なアクティビティを提供できる場とします。

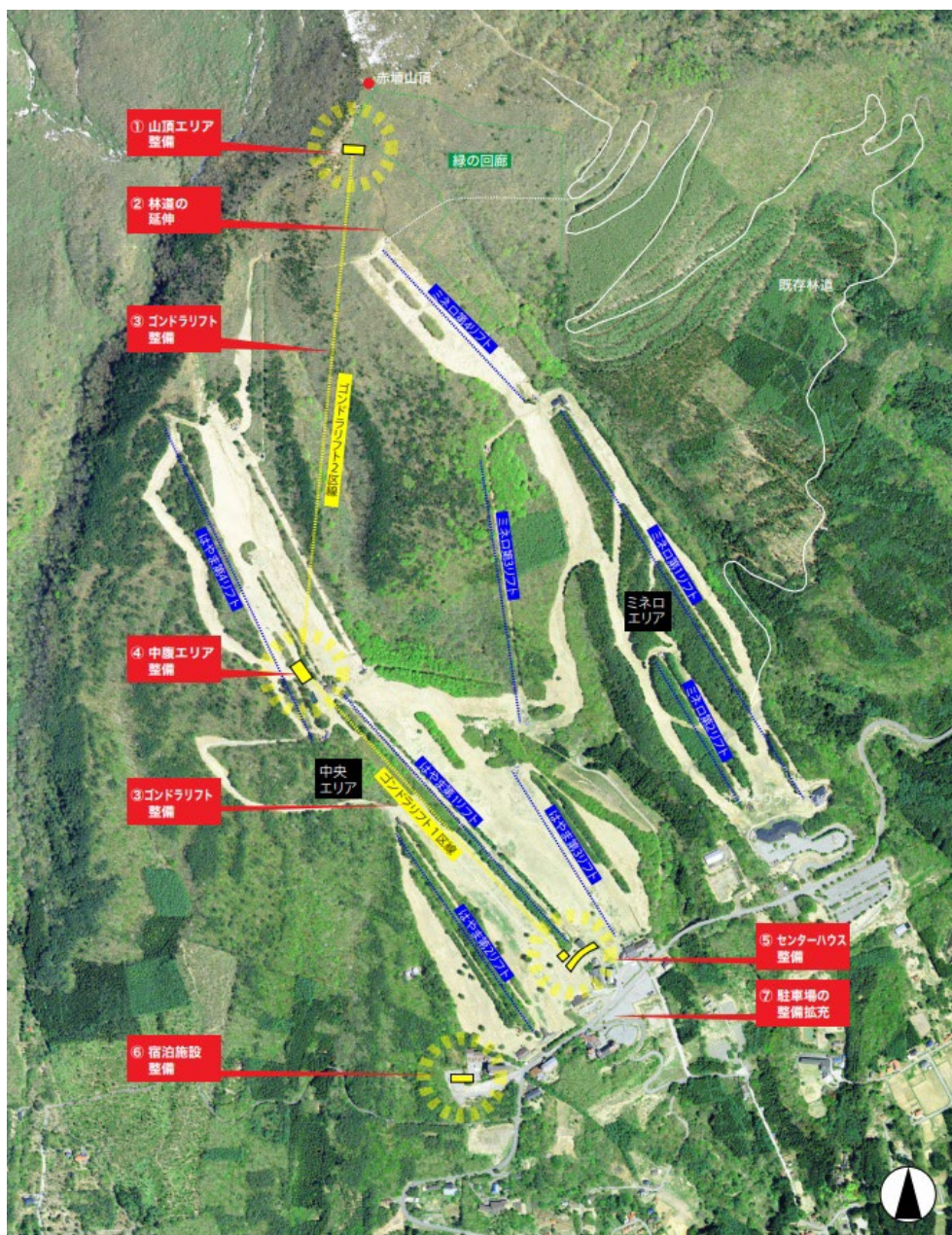


(2) 会津スカイケーブル（仮称）

山麓から会津スカイテラス（仮称）へ通じるゴンドラリフト「会津スカイケーブル（仮称）」を整備し、磐梯山登山の新たなアクセスルートを創出します。猪苗代スキー場の駐車場からパーク＆ライドで会津テラスまで移動し、高齢者から子どもまで様々な方々が猪苗代湖の眺望や、山頂付近の優れた景観や自然を手軽に満喫できます。また、新たなアクセスルートの創出により、八方台登山道等に集中するハイシーズンの利用者の混雑や環境負荷を分散させる効果が期待されます。

※DMC aizu：福島県会津地方等での観光振興等を推進。株式会社 IS ホールディングス傘下。

会津スカイテラス（仮称）及び会津テスカイケーブル（仮称）の計画位置



(3) 自然や文化などの地域資源を使った持続的な利用を目指した取り組み

① 環境配慮・自然環境オフセットプログラム

以下の自然環境オフセットプログラムを展開します。

- (ア) 風衝植生群落への配慮（貴重な植物を守る）
- (イ) スカイケーブル施工時の支障木伐採の最小化、管理時の樹木伐採の抑制（間伐による未然防止）
- (ウ) 希少な動植物への影響の回避、低減、代替
- (エ) 営業時の利用者への自然環境啓発コンテンツ発信
- (オ) 登山道への外来種定着抑止施策の実施（定期的な抜き取り等）
- (カ) オフセットプログラムによる自然植生の再生

② 地域活性化・連携コンテンツ

各施設を自然観察や環境教育の場として整備します。自然観察アクティビティに加え、地産・地消による地域活性化を地域と連携して促進します。併行して磐梯山周辺の磐梯町、北塩原村始め会津地方の様々な観光施設と連携協力して全国に会津の魅力を発信します。

③ 持続的な地域社会の形成を目指した事業

<通年雇用の創出>

「会津テラス計画」事業により、通年雇用や新たな就業の場を創出します。会津磐梯山エリアが地域の人々にとって「住みつづけられる街」となることを目指します。

<将来を担うこどもたちに向けた環境学習プログラム>

環境オフセットプログラムへの参加、「会津スカイテラス（仮称）」を利用した磐梯山ジオパークの学習、その周辺や沼ノ平での生態系の学習等、様々な環境学習プログラムを実施することを検討しています。

DMC aizu は、磐梯朝日国立公園の景観の中、我が国屈指の歴史を持つ猪苗代スキー場を舞台に、国内有数の景観・環境の魅力を体験するプログラムを、関係自治体や団体と連携し創造します。

<会津テラス計画 施設概要>

位置	福島県耶麻郡猪苗代町
施設	会津スカイテラス(仮称)：レストハウス 200 席 会津スカイケーブル(仮称)：輸送人員 2400 人／毎時（計画） 山麓センターハウス：800 席 ヴィラ：20 室
関連プログラム	沼ノ平湿原再生（赤埴山－磐梯山の途中にある湿原） 赤埴山頂周辺風衝植生の保護及び復元 山上散策体験ガイドプログラム スキー場区域内修景
カーボン・ニュートラル SDGs 等の取組み	協力会社の再生可能エネルギーを主要電力として使用予定 施設での環境再生試行等学校等への環境教育プログラム提供 施設での福島復興・環境理解のパネル等展示

※会津スカイテラス及び会津スカイケーブルは仮称であり名称等は変更される可能性があります。

<株式会社 DMC aizu 会社概要>

商号	株式会社 DMC aizu
公式サイト	https://dmc-aizu.co.jp/
本社所在地	福島県猪苗代町字葉山7105番地
事業内容	リゾート施設運営事業 / 発電事業 / 地域DX推進支援事業 / DMO活動
事業所	猪苗代町（猪苗代スキー場、ホテルヴィライナワシロ、猪苗代観光ホテル） 北塩原村（裏磐梯スキー場） 南会津町（北日光・高畑スキー場、道の駅きらら 289、小豆温泉旅館 花木の宿、 窓明の湯、オートキャンプ場 REDBEAN） 会津若松市（会津磐梯カントリークラブ）
資本金	9,800 万円
代表者	代表取締役社長 遠藤昭二
株主	株式会社 I Sホールディングス 100%

<株式会社 I Sホールディングス 会社概要>

商号	株式会社 I Sホールディングス
公式サイト	https://www.isgroup.co.jp/
本社所在地	東京都千代田区丸の内1丁目11-1
事業内容	IT 事業、金融事業、不動産事業、宿泊・レジャー施設の企画運営事業、発電事業、 再生医療事業、M&A 仲介・アドバイザー事業、カーシェアリング・駐車場シェア リング事業等を営む関連会社の統括持株会社
資本金	6 億円
代表者	代表取締役社長 遠藤昭二

<お問い合わせ先>

株式会社 DMC aizu

担当：常務取締役 遠藤俊平（えんどうしゅんぺい）

T E L : 0242-62-4755

MAIL : shunpei.endo@dmc-aizu.co.jp